

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局建設部道路計画課
担当課長名：高松 泰

事業名	一般道道 名寄遠別線 <small>なよるえんべつ</small>		事業区分	地方道	事業主体	国土交通省 北海道開発局	
起終点	自：北海道雨竜郡幌加内町字路之台 <small>うりゅう ほろかない ふきのだい</small> 至：北海道天塩郡遠別町字正 修 <small>てしお えんべつ せいしゅう</small>				延長	22.4km	
事業概要	<p>名寄遠別線は、名寄市から遠別町に至る延長約90kmの一般道道である。このうち、幌加内町と遠別町との境界部周辺における約22kmの区間が開発道路に指定されている。</p> <p>本路線の整備により、留萌地域北部と上川地域北部を結び、災害時の代替路線形成、高次医療機会の確保、農林水産品の流通支援等に奇与する。</p>						
昭和49年度事業化	H1年度都市計画決定	昭和49年度用地着手	昭和49年度工事着手				
全体事業費	約250億円		事業進捗率	69%		供用済延長	13.9km
計画交通量	710台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 B/C (残事業) 4.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 61/250億円 事業費：56/236億円 維持管理費：5/14億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 281/281億円 走行時間短縮便益：267/267億円 走行費用減少便益：13/13億円 交通事故減少便益：2/2億円	基準年 平成15年			
感度分析の結果	<p>事業全体について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C = 1.2 (交通量+10%) B/C = 1.0 (交通量-10%) 事業費変動：B/C = 1.1 (事業費+10%) B/C = 1.2 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C = 0.7 (事業期間+20%) B/C = 1.6 (事業期間-20%)</p>						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 国土・地域のネットワークの構築（現道等における交通不能区間を解消する） 安全で安心できるくらしの確保（二次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる） <p style="text-align: right;">他4項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見	<p>名寄市、遠別町をはじめ周辺1市4町1村の首長で構成される「開発道路名寄・遠別線建設促進期成会」他3団体より、事業促進の要望を受けている。</p>						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>昭和61年度に鉄道羽幌線（留萌～幌延）が廃止され、日本海側地域は道路交通へ依存せざるを得ない。</p>						
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>現在までに13.9kmを北海道に引き継いでいる。</p>						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>山間部の片押し工事で、橋梁・トンネルなどの大規模構造物で作業制約がある。平成10年度より両側から事業を推進し、平成20年頃の引き継ぎを目指す。</p>						
施設の構造や工法の変更等	<p>「平面・縦断線形の見直し」「擁壁構造の見直し」「建設副産物の再利用」「耐候性鋼材の使用によるライフサイクルコストの縮減」等に取り組んでいる。</p>						
対応方針	事業継続						
対応方針の決定理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図	<p>The map shows the project route from Utsunomiya (幌加内町) to Namiyoshi (遠別町). Key locations include Utsunomiya, Namiyoshi, and various smaller towns like Amakuni (美深町) and Furukawa (風連町). The map highlights the '再評価対象区間' (re-evaluation target area) of 22.4km, which is divided into '引継済' (transferred) sections of 3.5km and 10.4km, and a 'うち引継済' (partially transferred) section of 8.5km. A legend indicates road status: solid line for '供用中' (in use), hatched for '再評価箇所' (re-evaluation area), and dotted for 'うち引継済' (partially transferred). An inset map shows the project location within Hokkaido.</p>						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。